資料３

※令和３年３月１日現在

**令和３年度地域包括支援センター事業実施計画（案）**

胎内市地域包括支援センターみらい

**１　認知症総合支援事業**

**（１）認知症初期集中支援チーム（継続）**

　　・認知症初期集中支援チームによる支援の実施

　　　…チーム員は、地域包括支援センターやまぼうし、黒川病院認知症疾患医療センター、ちゅーりっぷ苑、地域包括支援センターみらいに所属する精神保健福祉士、保健師、看護師、社会福祉士の７人で構成し、サポート医は黒川病院認知症疾患医療センター長の宮本医師に依頼

　　・チーム員会議を２ヶ月に１回実施

**（２）認知症地域支援推進員の配置（継続）**

・地域包括支援センターやまぼうし職員2人とちゅーりっぷ苑職員1人の３人への委託を継続

・日本認知症ケア学会大会にて、胎内市の「チームオレンジプラスたいない」の取組について発表予定

・認知症地域支援推進員の活動をPR

・介護保険事業所や居宅介護支援事業所に推進員が出向き、現状や課題を共有し、次年度以降の活動の基盤づくりを行う

**（３）認知症ケアパスの積極的活用（継続）**

　　・令和元年度に地域共生型に改訂した認知症ケアパスを積極的に活用し、認知症に関する基礎的な情報とともに、具体的な相談先や受診先の利用方法等が明確に伝わるようにする

　　・災害時の対応を踏まえた研修会を実施する

**（４）認知症講演会（継続）　※黒川病院認知症疾患医療センターと共催**

　　・テーマ（仮）：「認知症の人がパートナーと共に地域で生きがいを持って暮らし続けられる地域づくり」

**（５）認知症ケア研修会（継続）**

・専門職向け研修会（講師：黒川病院認知症疾患医療センター長　宮本忍医師）

　　・地域づくり研修会（宮崎県立大学大学院　佐藤信人氏）

　　　内容は、市民と専門職が共に考える認知症の人への支援及び地域共生型認知症ケアパスの活用方法について。　※オンラインでの研修を検討

　　・認知症事例検討会

**（６）在宅生活継続のための相談・支援の推進（継続）**

　　・電話、来所、訪問による相談・支援の実施

　　・相談員１人（ちゅーりっぷ苑に所属し、認知症ケア専門士と社会福祉士の資格を持つ者）

**（７）「認知症カフェたいない」の開催（継続）**

　　・「認知症カフェたいない」の開催　毎月１回　会場：ほっとＨＯＴ・中条

　　・カフェ実行委員会（研修会）の実施　年１回程度

　　・若年性認知症カフェ（若年性認知症コーディネーターを中心に開催）への協力

　　・認知症カフェを効果的に実施していくため、R３年度は認知症地域支援推進員が「認知症カフェモデレーター研修」を受講し、今後の胎内市における認知症カフェの在り方について検討

**（８）認知症介護者への支援（継続）**

　　・認知症の人と家族の会　胎内市のつどいの開催への協力

**（９）若年性認知症への支援（継続）**

　　・若年性認知症カフェを当事者の活躍の場にしていく

**（１０）チームオレンジプラスたいない（令和２年度開始、継続）**

　　・地域の認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みづくりと活動の支援をしていく

・認知症地域支援推進員がチームオレンジコーディネーターをとなり、月１回の活動を継続

**２　認知症高齢者見守り事業**

**（１）認知症サポーター養成講座の開催（継続）**

　　・地域での開催

　　・小学校・中学校・高校での開催

　　・職域での開催

　　・小学校の保護者へのアンケート調査を実施し、若い世代への介入方法について検討する

**（２）認知症サポーターオレンジの会の活動支援（継続）**

　　・認知症サポーターオレンジの会　次の３チームで構成し連携して活動

　　　①サポーターチーム

　　　②寸劇チーム

　　　③カフェチーム

　　・虹色カフェ実行委員会

**（３）認知症街あるき声かけ見守り模擬訓練の開催（継続）**

　　・認知症の人が地域の温かい声かけや見守りによって、安心して街あるきができる地域づくりを目指し、認知症の理解、認知症の人への声掛けの仕方、地域の見守りの必要性を学ぶ模擬訓練を開催する

**３　介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防関連事業）**

**（１）第１号通所型サービスＣ・３か月短期集中コース**

＊拠点：４箇所　①ほっとHOT・中条　4コース

②健伸館　2コース

③にこ楽・胎内　１コース

④きのと交流館　1コース

＊期間：3か月間の短期集中コース　1コース12回×８コース　計96回開催

＊利用者目標数：120人

1. **すこやかしあわせ教室**

　　対象：総合事業対象者、要支援認定者

実施期間：通年

春、夏、秋、冬コースの年4回コース

12回×4コース　48回／年

会場：ほっとＨＯＴ・中条

内容：口腔機能チェック、体力測定、運動指導、栄養指導、口腔機能指導

　　定員：１コース20名

　　講師：運動指導員、歯科衛生士、管理栄養士、保健師

従事者：地域包括支援センター職員、介護予防リーダー、リハビリ専門職等

1. **すこやか築地教室**

対象：すこやかしあわせ教室と同じ

実施時期：12回×2コース　24回／年

会場：健伸館

内容：口腔機能チェック、体力測定、運動指導、栄養指導、口腔機能指導

定員：10人

講師：運動指導員、歯科衛生士、管理栄養士、保健師

　　従事者：地域包括支援センターみらい職員、生活支援コーディネーター、リハビリ専門職

1. **すこやかにこ楽教室**

　　対象：すこやかしあわせ教室と同じ

実施時期：12回×1コース　12回／年

会場：にこ楽・胎内

内容：口腔機能チェック、体力測定、運動指導、栄養指導、口腔機能指導

定員：10人

講師：運動指導員、歯科衛生士、管理栄養士、保健師

　　従事者：地域包括支援センター職員、リハビリ専門職

1. **すこやか乙教室**

対象：すこやかしあわせ教室と同じ

実施時期：12回×１コース　12回／年

会場：きのと交流館

内容：口腔機能チェック、体力測定、運動指導、栄養指導、口腔機能指導

定員：10人

講師：運動指導員、歯科衛生士、管理栄養士、保健師

　　従事者：地域包括支援センター職員、リハビリ専門職

**（２）一般介護予防事業**

**【地域介護予防活動支援事業】**

　高齢者が参加しやすい身近な地域において、介護予防が積極的に推進されるよう担い手育成と介護予防活動の実践的な支援を実施し、健康寿命延伸を図る。

**①介護予防リーダー養成講座**

　対象：介護予防に興味のある方、地域の介護予防活動を始めたいと考えている方など。

　時期：11～12月の全６回講座

　会場：健伸館

　内容：ア．「介護予防とは」「介護予防リーダーとは」

　　　　イ．認知症サポーター養成講座

　　　　ウ．基本的な介護予防運動、すこやか元気アップ体操実践指導

　　　　エ．地域でできる簡単レク体験と企画・発表

　　　　オ．介護予防強化と担い手づくり、介護予防リーダー登録

講師：認知症サポーターオレンジの会、リハビリ専門職、地域包括支援センター職員ほか

**②スマイル体操の会**

　対象：介護予防リーダー養成講座修了者の会

　時期：年６回

　会場：ほっとＨＯＴ・中条等

　内容：介護予防活動全般についての学び、介護予防リーダーの資質向上、

スマイル体操の普及啓発

　講師：運動指導員、歯科衛生士、栄養士、地域包括支援センターみらい、

リハビリ職員等

**③介護予防リーダー等研修会**

対象：介護予防リーダー養成講座修了者後、研修参加を希望する方

　時期：年２回

　会場：ほっとＨＯＴ・中条等

　内容：胎内市版フレイルチェック「たいない健康度チェック」の実施

　　　　介護予防実地研修と情報交換

講師：地域包括支援センターみらい

**➃介護予防事業等従事者研修会**

対象：介護予防リーダーで、市の介護予防事業の担い手になる意向のある方

　時期：年1回（2月を予定）　　　会場：ほっとHOT・中条

　内容：市の高齢者の現状と介護予防事業等の取組報告

　　　　介護予防事業等への従事者研修

講師：地域包括支援センターみらい

**➄多職種、関係機関との検討会**

　対象：リハビリ専門職、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、

　　　　保健分野保健師、住環境コーディネーター、自立支援に向けた住環境整備に関心のある者

　内容：a.これからの地域サロン支援のあり方、介護予防に資する「通いの場」の取組や支援方法についての検討

　　　　b.住環境整備を含めた自立支援の検討

**➅サロン支援**

　対象：各地域のサロン

　内容：各地域の健康課題等に応じた講話や実践指導を行う。

　　・胎内市版フレイルチェック「たいない健康度チェック」の実施

　　・地域住民自らが地域サロンの担い手となり、活動できるように支援する

　　・介護予防リーダーにより介護予防に資する活動を実施する

　　・スマイル体操出前講座

　　・介護予防に資する「通いの場」の立ち上げ支援の紹介

　実施数：60地区　130回

時期：通年

　担当：地域包括支援センター職員、リハビリ専門職、運動指導員、介護予防リーダー

**⑦住民運営のよる通いの場支援**

**ア．立上げ支援**

　対象：支援後も住民運営で継続する意思のある地区またはサロン

　実施数：3地区程度（1地区12回コースのうち9回支援）

　時期：通年で募集

　内容：初回と最終日に体力測定、介護予防に関する問診を実施

　　　　住民運営に通いの場継続に向けた胎内市オリジナル介護予防体操指導

　　　　希望のあった地区に説明会の実施

従事者：地域包括支援センター職員、運動指導員、リハビリ専門職、

地区担当保健師

**イ「通いの場」の継続支援**

　対象：立ち上げ支援後も住民運営で継続する意思のある地区またはサロン

　実施数：継続支援中の全ての通いの場、１地区３～４回程度

　時期：通年

　内容：「胎内市オリジナル介護予防体操」指導等

　　　　胎内市版フレイルチェック「たいない健康度チェック」の実施

従事者：地域包括支援センター職員、運動指導員、リハビリ専門職、栄養士

**⑧すこやか元気アップ体操実践指導者養成講座**

　介護予防体操である「すこやか元気アップ体操」を学び、市民自らが地域で活動するための勉強会

対象：介護予防リーダー、興味のある市民

　実施数：年１回（４回連続講座）

　内容：姿勢改善、すこやか元気アップ体操の実践と指導体験

　従事者：リハビリ専門職、地域包括支援センターみらい

**⑨担い手研修【総合事業訪問型サービスA従事者養成講座】**

　対象：介護予防リーダーで、市の介護予防事業の担い手になる意向のある方

　　　　総合事業サービスA・Bに関わっている従事者及び市民ボランティア

　時期：１～２月を予定　２日間コース　　会場：未定

　内容：介護保険制度について、高齢者の特徴等

　講師：社会福祉協議会、地域包括支援センターみらい他

**⑩すこやか元気アップ体操リーフレット印刷**

　発行部数：2,000部

　配布先：市民、ケア関係者等広く周知

　　　　　介護予防リーダー等地域で活動する市民、通いの場やお茶の間サロンに配布

**⑪地域における介護予防教室**

　対象：委託包括、地区担当保健師が、地区診断により重点地区と定めた地区

　時期：各地区によって調整

　内容：4回コース　①スマイル体操出前講座、②運動、③栄養、④口腔

　　　　介護予防に資する『通いの場』立ち上げ支援の紹介

　講師：地域包括支援センター、社会福祉協議会、地区担当保健師

**⑫ときの会**

対象：介護予防教室修了者のほか、誘い合っての参加も可能

時期：通年　第１，３水曜日　年24回

会場：ほっとＨＯＴ・中条

従事者：介護予防リーダー、地域包括支援センターみらい（年6回程度）

**⑬ゆうゆう会**

対象：概ね65歳で転倒予防のための運動を行いたい方

時期：通年　月1回

内容：介護予防体操

利用料：年間2,000円（年間の講師料等）

会場：ほっとＨＯＴ・中条

講師：運動指導員、リハビリ専門職、地域包括支援センターみらい他

**【生活支援体制整備事業】**

　高齢者等が住み慣れた地域で暮らし続けるために、生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加推進を一体的に図っていく。

**①生活支援コーディネーターの配置**

　配置：第１層：市全域　1人　　地域包括支援センターみらい看護師

　　　　第２層：中学校区域等に配置　4人

介護予防リーダーまたは、地域コーディネート機能を適切に　担うことができる者

社会福祉協議会１人、ＮＰＯ法人奥山の荘３人へ委託

　地域コーディネーター会議の開催　年６回

**②生活支援・介護予防体制整備協議会**

**[介護予防プロジェクト]**

委員会：介護予防・日常生活支援体制整備協議会委員

　内容：市全域における介護予防と生活支援の充実を図り、多様な主体によるサービス提供が市全域で提供できるように、定期的な情報共有及び連携強化の場として協議会を開催する。

ア．情報の集約化による地域課題や実態の把握

イ．社会資源等の情報の見える化の推進

ウ．地域づくりにおける情報共有、連携の強化

エ．課題に対する具体的な取り組みを企画、立案、方針策定

　時期：年２回開催　　５月、２月頃を予定

**[地域づくり会議]**

　対象：第２層生活支援コーディネーターが中心となり、地域の実情に合わせ会議の参加者を募る。

　内容：地域の高齢者等支援のニーズと地域資源の状況を把握し、地域と連携しながら多様な取組を総合的に支援、推進する。

　　　　ア．目指す地域や今後の取組などを共有し意識づくりを行う

イ．地域のニーズと資源の状況を把握する

　　　　ウ．地縁組織などの地域の担い手への協力依頼などの働きかけ

　　　　エ．地域の担い手の発掘と関係者との関係づくりを行う

　回数等：地域の実情に合わせ実施

**【介護予防普及啓発事業】**

1. **うさぎの会**

通年実施。第1.3と第2.4火曜日（年24回）の２コース　全48回

　対象：すこやか教室の卒業生

　講師：運動指導員、歯科衛生士、管理栄養士、保健師

　従事者；地域包括支援センターみらい、介護予防リーダー、リハビリ専門職等

**② 築地うさぎの会**

通年第2.4水曜日の24回実施

対象：すこやか教室の卒業生

　講師：運動指導員、歯科衛生士、管理栄養士、保健師

　従事者；地域包括支援センターみらい、リハビリ専門職等

**③ 介護予防研修会**

　対象：市民

　時期：11月頃

　会場：４会場（ほっとHOT・中条、健伸館、乙交流館、にこ楽・胎内）

　テーマ：「膝腰丈夫に元気に長生き！健康長寿講座」

　　　　　胎内市版フレイルチェック「たいない健康度チェック」の実施

　　　　　運動実践、通いの場の取組紹介

　講師：リハ専門職、地域包括支援センター

**５　包括的支援事業**

・総合相談支援事業

　　　高齢者の福祉・介護に関する相談　相談件数　延１万件に対応

　　　「福祉まるごと相談窓口」との協働による、包括的相談支援体制構築

　　・権利擁護事業

　　　成年後見制度の利用促進

　　　高齢者虐待の事実確認・調査等の対応、防止に向けた支援

**６　包括的・継続的ケアマネジメント支援**

1. **ケア向上事業**

・ケア向上研修会の開催　年５回を予定

**（２）定例個別地域ケア会議の推進**

市や地域包括支援センターにおいて、多職種協働による個別事例の検討等を行い、専門職のケアマネジメントの質の向上、地域課題の把握と施策への反映、他分野との連携を目指し、自立支援型の地域ケア会議を実施する。

・定例地域ケア会議　年12回（研修会を含む）開催

**（３）胎内市介護支援専門員連絡協議会への参画**

・胎内市介護支援専門員連絡協議会に参加し、研修会の開催や情報の共有、ケアマネジメント技術の向上に取り組む。

**７　指定介護予防支援・第１号介護予防支援業務**

・要支援認定者及び総合事業の第１号訪問・通所型サービス事業対象者に対するケアマネジメントを地域包括支援センター４か所において行う。

　　・可能な範囲で指定居宅介護支援事業所（ケアマネジャーの事業所）に委託（再委託）も行う。

**８　令和３年度地域包括支援センター職員配置**（人）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 職　　種 | みらい | 胎内市社協 | 中条愛広苑 | やまぼうし |
| 保健師・看護師 | ２ | １ | １ | １ |
| (主任)介護支援専門員 | １ | ２ | ３ | １ |
| 社会福祉士 | １ | １ | １ | ２ |
| 理学療法士・作業療法士 | ２ |  |  |  |
| 事　務 | １ |  |  |  |
| 生活支援ｺｰﾃﾞｲﾈｰﾀｰ | １ |  |  |  |
| 合　　計　２１人 | ８ | ４ | ５ | ４ |
| R２年度との比較 | ±０ | ±０ | ±０ | ±０ |

　※職種に対する職員数は、資格の重複にかかわらず主たる職種として分類する。